

お買い物は～
千代田区内の
地元商店街で！



千代田区 商連会報

第150号 平成25年7月25日

発行 千代田区商店街連合会
千代田区神田錦町三丁目21番地
(ちよだプラットフォームスクエア4階)

電話 (5281) 1171(直)

FAX (5281) 1178

発行人 瀬川 昌輝

編集 区商連宣伝広報部・事務局

ホームページ <http://www.chiyodaku-shoren.jp/>



瀬川会長の挨拶



嶋崎区議会議長のご祝辞



石川千代田区長のご祝辞



千代田区商店街連合会創立50周年記念

千代田区商店街連合会 創立五十周年記念 特別講演会と 記念懇親会を開催

千代田区商店街連合会創立五十周年を記念して平成二十五年六月十八日、一ツ橋の如水会館で特別講演会と記念懇親会を開催しました。

「進化し続ける街、高松丸亀町商店街」と題し、高松丸亀町商店街振興組合理事長の古川康造氏から、自ら実践して商店街を活性化させた体験に基づいた特別

講演は、会場を埋めた参加者のみなさんも感銘を受けた様子でした(講演の内容は本号4頁に掲載しました)。



古川康造氏の特別講演

記念懇親会には、関係団体の皆様、区議会議員の皆様、区商連会員の皆様ほか多数のご参加をいただき、盛会裏に開かれました。

石川雅己千代田区長、嶋崎秀彦区議会議長からお祝辞を賜り、高木茂観光協会代表理事の乾杯で懇談に入り懇親の輪が広がりました。

懇親会で主催者を代表して、瀬川昌輝千代田区商店街連合会会長は、次のように挨拶しました。



区商連会員や関係団体の皆様の
なごやかな歓談の輪ができました

懇親会風景



瀬川会長と新年交歓会講師の藤田様、
今回講演された古川様



高木観光協会代表理事の首頭で乾杯



本日は千代田区商店街連合会創立五十周年の記念する会に、千代田区長はじめ区議の皆様そして関係団体の皆様など、多くの来賓の方々にご参加頂き、深く感謝する次第です。

区商連は昭和三十八年三月二十六日に設立され、今年で五十周年を迎えました。その間初代会長の渥美様から数え、増田様、木村様、中山様、齋藤様、内山様そして私と、会長は七人が勤めてまいりました。

この間、昭和五十年には、第一回「千代田のさくらまつり」を区商連により千鳥ヶ淵遊歩道と靖国神社で開催、それから現在まで、「区商連さくら市」「区商連さくらまつり」と名称は変わっても開催し続け、現在の「さくらフェスティバル」という名称は平成十七年から、毎年千代田区の春の名物イベントとして開催されています。

その他、全国の優良商店街の視察や経済講演会の実施など、商店街の繁栄・活性化を促す数々の活動を実施してまいりました。

このようにして五十周年を迎えた区商連ですが、今日の経済・社会情

勢を見ますと、これから進む先には多くの困難な問題があるといえるような状況ではないでしょうか。

本年五月十八日付の日経新聞社説に、「商店街」を守るべきなのか、という記事が載っていました。お読みになった方もいらっしゃると思います。が、少しその内容をお話しして、これからの商店街の採るべき道を考えたいと思います。

最初に、商店街の衰退が止まらない、という書き出しで、二〇〇六年に施行された改正中心市街地活性化法も大きな成果を得られていないとしたうえで、暮らす人のための街という視点をもっと取り入れてはどうか、と提案しています。

そして、これまで政府の中心市街地政策は、既存の小規模な商店の延命に重心を置いてきた、とし、めざすべきは既存の事業者の保護よりも、少子高齢化に備えた街としての機能強化ではないか、としています。それに続けて、「商店街の多くは商工会や自治会とは手厚く連携している。だが少子高齢化時代に重要となるボランティア団体やNPO、託児所との連携は不十分だ。こうした新しい街の担い手に拠点を提供し、人の交流を増やしてはどうか。空き店舗や空き地をやる気のある若者や女性に起業の場として貸すなど、街の新陳

代謝を促す試みももっと広がっている」「このような考えを記述したうえで、最後に、「画一的なモデルを政府がつくり、基準に合致すれば補助金を出す。そんなやり方は地域が創意工夫をし、個性や魅力を伸ばすことの妨げにならないか」と結んでいます。

如何でしょうか、この中にこれからの商店街が進むべき方向がいくつか隠されているように思えます。地域のボランティア団体やNPOとの連携による空き店舗対策は、今年の新春情報交歓会で藤田とし子さんが紹介した商店街の活動を思い出させます。そして何より大切だと私が感じたのは、最後のところ。地域が創意工夫をして商店街の個性や魅力を作り出すところ、今我々商店街に求められていることではないでしょうか。

今日ご参加頂いた千代田区長をはじめ区議の皆様には、このように地域の魅力・個性を伸ばそうと努力している商店街を物心両面で支えて頂き、これらの活動が実りあるものになりますよう、ご支援頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

結びに、今日お集まりの皆様のご多幸・ご健勝を祈念し、また、千代田区商店街連合会と会員商店街の益々の発展を祈念し、会長挨拶といたします

千代田区商店街連合会 新役員一覧

(平成 25 年 6 月 18 日承認)

- 会 長 瀬川 昌輝 お茶の水茗溪通り会
- 副 会 長 角谷 幸男 神田白山通り神保会
- 副 会 長 稲垣 秀明 北神実業会
- 副 会 長 秋山 利昭 神田駅西口商店街振興組合
- 副 会 長 土井 新三 出世不動通り商店会
- 副 会 長 安達 保俊 麹町通り商店会
- 副 会 長 渡邊 伊佐雄 東京大神宮通り
- 常任理事 岩崎 博茂 飯田橋西口通り商業連合会
- 常任理事 杉浦 弘明 日比谷商店会
- 常任理事 穂保 国雄 福興会
- 常任理事 石井 利之 飯田橋商店街振興組合
- 常任理事 戸田 豊重 日本テレビ通り振興会
- 常任理事 小野里 耕作 紀尾井町通り振興会
- 監 事 林 福松 九段商店街振興組合
- 監 事 櫻井 君徳 神田ふれあい通り商店会
- 櫻井君徳税理士事務所



区商連第五十回通常総会は、如水会館二階のスターホールで午後三時三十分から開催いたしました。提案された六議案は、審議の結果全員賛成で原案どおり承認されました。承認された議案は次のとおりです。

千代田区商店街 連合会総会

区商連第五十回通常総会・
区振連第十四回通常総会を
六月十八日、一ツ橋の如水会館
で開催いたしました

千代田区商店街振興 組合連合会総会

- 【議案】
- 第一号議案 平成二十四年度事業報告
 - 第二号議案 平成二十四年度収支決算報告
 - 第三号議案 平成二十五年度事業計画(案)
 - 第四号議案 平成二十五年度収支予算(案)
 - 第五号議案 会長承認の件
 - 第六号議案 監事承認の件
- また、任期満了に伴う区商連の副会長・常任理事の改選も行われ、現役員全員の再任を承認するとともに、新たに九段商店街振興組合の小野里耕作氏が常任理事に就任することが承認されました。

区振連第十四回通常総会は、如水会館二階のスターホールで午後三時から開催いたしました。提案された三議案は、審議の結果全員異議なく原案どおり可決決定しました。提案された議案は次のとおりです。

靖国通り商店街連合 会総会開催

【議案】

- 第一号議案 平成二十四年度決算関係書類承認の件
- 第二号議案 平成二十五年度における事業計画(案)、収支予算(案)並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件
- 第三号議案 平成二十五年度借入金の高限度額決定の件

靖国通り商店街連合会(稲垣秀明会長)では7月2日(火)神保町の新世界菜館にて平成25年度通常総会を開催いたしました。

連合会加盟の各商店会会長をはじめ、専修大学、明治大学、共立女子学園、興産信用金庫の皆様の参加をいただき、各議案を予定通り可決しました。また連合会会長として、北神実業会、稲垣秀明会長が再任されました。その後の懇親会では七月の「七夕まつり」、八月の「靖国打ち水週間」、十一月の「富くじ大興業」等の今後の行事計画に話の輪が広がり、懇親の和を深めることができました。



靖国通り商店街連合会総会
総会後のなごやかな懇親会風景

千代田区商工融資あっせん制度のご相談は、興産信用金庫へ

取扱指定店	所在地	電話
本店	千代田区神田紺屋町 41	03-3254-3335
神保町支店	千代田区神田神保町 1-40	03-3293-4951
秋葉原支店	千代田区外神田 4-9-8	03-3253-6851
飯田橋支店	千代田区飯田橋 1-7-10	03-3264-4031
市ヶ谷支店	千代田区五番町 5	03-3234-3211

※審査の結果、ご希望にそいかなる場合がございますのでご了承ください。



千代田区商店街連合会 50周年記念講演

進化し続ける街、 高松丸亀町商店街

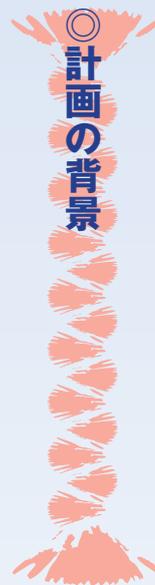
高松丸亀町商店街振興組合
理事長 古川 康造

6月18日(火) 如水会館オリオンルーム

現在、全国地方都市の中心部が壊滅状態に追いやられています。都市計画という観点で申し上げますと、市の中心部はたいへん重要なポジションであり、すでに公共投資、民間投資とも終わっている、まさにインフラ整備が終わっている宝の山の土地です。ところがいざ商店街に目を向けてみますと、後継者を失って、商売がもう継続できなくなり、業種転換するパワーも失っています。しかも土地は相続でどんどん細分化されてしまつて、ほとんど鰻の寝床のような状況です。こうした都市の中心部が抱える問題を、四国の田舎商店街が解決してしまつたと、現在、全国から随分のご注目をいただいております。



再開発事業はハコモノ整理のように映りがちですが、私たちの開発では、これを民間主導で行なうことで「新しい街の運営の仕組みが



私たちはうまく廃業支援を行うことで、地権者の皆さまをいったん正しく廃業させ、彼らも持っていた「宝の山」である土地の一括的な運営管理を実現しました。町づくりのプロで構成される「高松丸亀町まちづくり株式会社」を立ち上げ、商店街を北のほうからA・B・C・D・E・F・Gと470mの商店街を7つの街区に区切り、それぞれに役割を持たせた面としての全体開発をすすめたのです。

くり」をめざしたことが核心です。

実は、私どもの商店街も、過去非常に熱心に街づくりに取り組んできました。アーケードの整備、街路の整備、施設の充実、空店舗対策。さらにイベントに至ってはありとあらゆるイベントをやりつくしました。しかしいくらイベントで集客をしても、恒常的な売上につながることはありませんでした。そこで辿りついた結論は、インフラの整備やイベントで町おこしをするのではなく、まず商店街全体の土地問題、これを解決し、商店街の再生を根本から図ろうというものでした。

計画を遂行するにあたって、まず全国の再開発事業の失敗例だけを徹底的に調べ上げました。すると、まず役所が主導する駅前一等地でのビル開発は成功例がありません。巨大なハコモノを一つ建てるような再開発事業では課題が課題を生み、さらに街が疲弊してしまうという結果が見えたのです。そこで私どもは自分達の身の丈にあったもの。やはり地権者のみなさんがリスクを負って、民間が主導権を持った開発をやらうと決断したのです。これが時代に合わせてどんどん展開をしていく、連鎖をする開発をやりましょうと。



◎生活者視点の街づくり

私どもの計画の基盤には、商店街という商業の再生という以前に、いかに居住者を取り戻す

■再開発によって、商店街に導入された、様々な都市機能

●広場



毎週様々なイベントが催される中心市街地の顔

●イベントホール



イベントホールは、コンサートやシンポジウム、展示会、立食パーティなど、様々な使い方が可能。

●診療所



地域医療再生のため、商店街内に診療所を設置。大型病院と連携し、町の掛かりつけ医を目指す。

かというテーマがありました。しかし街を見渡すと、八百屋さんも魚屋さんも日用雑貨店も町医者も、生活するために必要なお店や施設がほとんど全部なくなっていました。人口が流出して居住者がいなくなり、商売が成立しなくなっていたのです。つまり居住者を取り戻すためには、ライフインフラの再整備が必要だったのです。どうしてもテナントミックスを避けて通ることはできませんでした。

これを実現したのが、定期借地権。冒頭にお話ししました7つの各街区に、地権者の共同出資会社をつくり、その会社と地権者が60年の定期借地権の設定をします。そうすることでいく

つもの地権者にまたがった土地に、共同出資会社が新しい共同ビルを建てることができます。その新しいビルではテナントミックスを実現させ、さらには生まれた利益を60年間、地権者のみなさんに地代として配当する。定期借地権をうまく活用することで、新しい街の仕組みをつくったのです。

テナントミックスは、「自分自身が80歳を超えたときに住みたい、丸亀町商店街」というイメージをもって進められました。そして病院の開設、介護施設、また新しい流通の仕組みをもつ市場。広場の整備、ホームセンターの誘致。映画館、バスの運行、保育所、小学校の経営まで。

◎広場の整備とその他の取り組み

年をとったら丸亀町に住んでみたいよねと言われるような、高齢者にとつてのパラダイスをいかに合理的に、かつスピーディーにつくりあげるか。

実は共同の再開発ビルの上層階には、高齢者向けのマンションを400戸ほど整備し、1500人の高齢者を誘致する計画を同時に進めていました。つまり居住者の誘致とライフインフラの再整備を同時にやってみようということです。おかげさまで計画は順調に進み、現在は400戸の計画のうち200戸が完成し、完売御礼。明らかな高齢化社会を迎えるなかで、中心市街地への回帰現象が起きています。

今、商店街というビジネスモデルは、まったく時代に合わなくなっています。商店街はこれから公共性に目覚めない限り、その市民権を失ってしまうと私どもは考えています。その公共性とは、ひとことではいえない、様々な分野の人達とのまさに連携のステージづくり。そこで、今回パブリックスペースにこだわり、広場を整備しました。ヨーロッパの古い町は市の中心部に大きな広場を持ち、市民が非常にうまくつかっています。それを理想とし、開発にあわせて建物を大きくセットバックして、つまり民間の土地を差し出して、この広場の面積を約5倍に広げ、まさに市民のみなさんが自由に使える

広場を手に入れることに成功しました。実はイベントをやりたいと思っっているのは市民であり、みなさんの使えるステージをつくるのが、今回の私どもの民間投資による広場の整備でした。実際に、昨年 1 年間ではじつに 206 本のイベントがこの広場で開催され、土日祝日はもうほとんど、市民の皆さんの持ち込みイベントで大賑わいをしました。まさにこの広場の整備は、私どもの想定した以上の賑わいを生み出す、非常に大きな効果があったのです。

私どもはその他にもさまざまな計画を現在も進めております。再開発ビルの中層階への病院誘致をはじめとし商店街にあった職人のモノづくりの機能を、もう一度商店街に取り戻しましょうという「丸亀町ファクトリー」構想。これは若手起業家支援になっておりまして、開業資金を実は青天井で、全額負担という公募をしています。食のプロジェクトとしては、生産農家・漁業者と商店街が直接契約する、既存の流通をいっさい通さない新しい「市場」の運営があります。

また、私どもが目指したのは、まさに個人でできない組織の規模を生かしたビジネスを起こして、その収益が街に再投資される新しい街の運営の仕組みです。つまり街全体、商店街というコミュニティが基盤になります。例えば、バスの運行。これは年間 600 万円の赤字を生みますが、一方でそれを商店街が経営する駐車場の収益で賄う。つまり生まれた利益をすべて、街に再投資するのです。明らかに利益のない公共サービスを収益がしっかりと支える



地域で利益が循環していく仕組みこそ、私どもが目指すエリアマネジメントなのです。

◎まとめー向こう100年
つづけるために

今回の私どもの計画は、単に一商店街の再生計画ではなく、背景に地方都市をいかに再生させるかというストーリーがありました。インフラ整備の終わった中心部の土地の有効活用こ

そが合理的な自治体の財政づくりであります。以下の二つの要因によりあります。地権者の皆さんは本気で資産を守る覚悟、自治体は都市を守る本気の覚悟があるか、まさにこの本気の出会い。そして地域がもっているコミュニティの力です。

私どもが行ったこの再開発事業。じつは全員同意（都市再開発法第110条「全員同意型権利変換」）によって実行されました。それができたもつとも大きな要因は、本来地域が持っているコミュニティが現存していたという点です。いざという時に一致団結をする地域のコミュニティが見事に残っていた。これは言葉を変えていうと、地域のコミュニティが崩壊していったら、再生は叶わなかったということです。今後、向こう100年、コミュニティを崩壊させることなくエリアマネジメントに取り組んでいきたいと思っております。

●講師プロフィール

古川 康造(ふるかわこうぞう)氏

昭和 32 年 (1957)

香川県高松市丸亀町生まれ

立命館大学 経営学部卒

少子高齢化社会に対応した新しい形の地方自治組織の創設を目指して中心市街地再生に向け日々、精力的に取り組んでいる。

《現職》

高松丸亀町商店街振興組合 理事長

丸亀町不動産株式会社 代表取締役専務

株式会社 TM アシスト取締役

合資会社野田屋電機 専務取締役

東京すずらんスポーツ祭

「東京すずらん通り連合会」の主催で6月30日に「東京すずらんスポーツ祭」が開催されました。このイベントは、神田・銀座・経堂・荻窪・南阿佐ヶ谷・立川の6つのすずらん通り商店街を13区間の駅伝で結び、人と街の絆を深めながら市民ランナーが楽しく走ろうというスポーツの催しです。



▲谷川真理さんの先導でスタート

▲華やかにスポーツ祭り開会式

開催イベント情報

やすくに七夕まつり

北神実業会(稲垣秀明会長)では靖国通り商店街連合会の協力のもと6月24日から7月7日まで「やすくに七夕まつり」を開催いたしました。九段下から須田町までの靖国通り沿いの加盟店前に七夕の笹飾りを百台設置しました。

各加盟店では、学生さん、お子様たちをはじめ、大勢のお客様に短冊を差し上げ、笹飾りに願い事や想いを書いて結んで頂きました。「夢が叶うといいね」と言いながら、みなさん楽しく参加してくださいました。多くの短冊が結ばれた笹飾りが風にそよぎ、梅雨時の街も華やかで明るい風情を楽しんでいただきました。



▲たくさんの短冊の夢が結ばれた笹飾り

選挙に行くといいことがある キャンペーン

6月23日に東京都議会議員選挙がありましたが、半蔵門通り商店会では投票率アップ大作戦として「選挙に行くといいことがある！キャンペーン」を選挙後の6月24日から29日まで開催いたしました。

投票を済ませた後、投票会場で「投票済証」を受取り、半蔵門通り商店会の加盟協力店でその投票済証を提示すると各種サービスが受けられるというものです。投票場所は都内どこの選挙区でもOK!でした。

7月21日の参議院選挙についても同じ趣旨で開催しております。期間は7月8日(月)から27日(土)まで。期日前投票でも「投票済証」が受け取れるため開催期間が長くなりました。

■マル経融資■

国(日本政策金融公庫)の融資制度です
小規模事業者のみなさまへ
無担保・無保証人

1,500万円

(この限度額は平成26年3月31日まで)

金利 年1.75%(7月10日現在)

※審査の結果、ご希望に添えないことがあります。
※会員・非会員を問わずご利用いただけます。

●税務相談(窓口専門相談)●

相談無料・要予約
第2水曜日 13:00~16:00
(実施日:9/11、10/9)

ご相談・お問合せ

東京商工会議所 千代田支部

☎03-5275-7286

〒101-0051 千代田区神田神保町3-19

ダイミック・アト九段下ビル2階

パレスサイドビル名店会 七夕まつり

竹橋のパレスサイドビル名店会では、6月17日(月)より7月6日(土)まで、第6回七夕まつりを開催いたしました。吹き抜けの通路が、色鮮やかな七夕飾りに彩られました。

同時イベントとして7月1日(月)~3日(水)の期間中に、加盟店でお買い物、お食事をされた方はくじ引きの抽選会に参加でき、100円から3,000円までの買物利用券(総額で150万円)が抽選で当たりました。七夕の笹に結ばれた、願ひ事の手紙は、イベント終了後、神田明神に納められたそうです。



夏のイベント予定

第七回 靖国打ち水週間

主催 靖国通り打ち水週間実行委員会・北神実業会

開催日時

8月1日(木)2日(金)3日(土)

※土曜日は実施しない商店会があります

場所

九段下から須田町までの靖国通り沿いの各商店会

オープニングイベントは下記「北神実業会・靖国通り商店街連合会 夏のイベント御案内」参照

期間中10時~16時の2回、打ち水を行います。※参加者に先着順で風鈴または扇子を呈します。(数に限りがあります)

日本テレビ通り 納涼盆踊り大会

主催 日本テレビ通り振興会

開催日時

8月2日(金)3日(土)

午後6時20分~8時20分

(開場午後6時) ※雨天中止

場所 日本テレビ駐車場

東京大神宮納涼盆踊り大会

主催 東京大神宮通り・飯田橋西口通り商業連合会

開催日時

8月7日(水)8日(木)

午後7時~9時

場所

東京大神宮境内

日比谷丸の内音頭大盆踊り大会

主催

日比谷公園親睦会商店会

開催日時

8月9日(金)10日(土)

※小雨決行
午後6時~9時

場所

日比谷公園大噴水周辺特設会場

・チャリティ抽選券
・模擬店の出店
・歌手によるミニコンサート

事務局だより

会長就任退任

神田白山通り商愛会 会長

就任 内藤 勝弘

退任 長谷川 裕

(平成二十五年三月二十九日付)

神田駅東口一番街商店会 会長

就任 小林 忠義

退任 板倉 一典

(平成二十五年六月末日)

北神実業会・靖国通り商店街連合会 夏のイベント御案内

~九段下から須田町までの靖国通りの16商店会~

【第7回 cool YASUKUNI 2013 -2°C 靖国打ち水週間】

8月1日(木)~3日(土)の期間中、毎日午前10時と午後4時に靖国通りにていっせいに打ち水をします。ご協力いただいた方には先着順で南部鉄風鈴または扇子を差し上げます。(合計1,500個限り なくなり次第終了。オープニングでも差し上げます)

オープニング:

8月1日 11:00

神田小川町3-6 全東栄信用組合前

フラッグ掲示:

7月8日~8月4日

(靖国通り商店街連合会 会長 稲垣秀明/16商店会) 北神実業会・九段下さくら会商店街・南神実業会・神二睦会・通神商栄会・グリーンネ・アレー通り商店会・駿河台下G. アレー通り会・福興会・まえだれ会・表商会・小川町商光会・一栄会・幸徳会・須田町親交会・須田町北部商店会・須田町ふたば会

<http://www.yasukunidori.jp>

お問い合わせ:靖国通り商店街連合会 会長 稲垣 TEL3262-7778



—第4回 やすくに七夕まつり— (御礼)

6月24日~7月7日(七夕)まで連合会加盟店の店頭には笹飾りを設置し、街の方々に短冊に願いを書いて頂きました。皆様の夢や想いが叶いますよう、ご祈念申し上げます。

